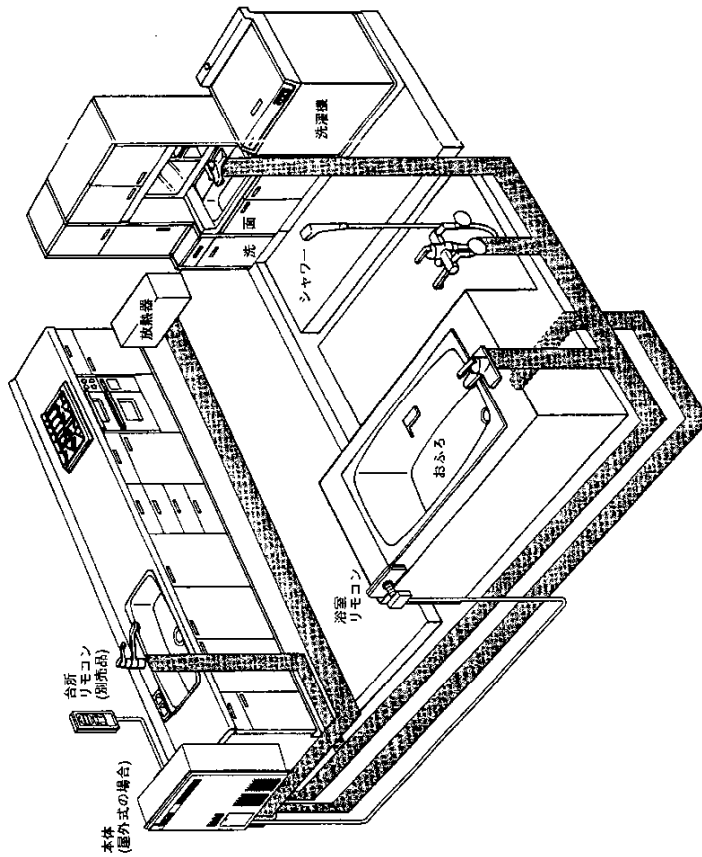


特長

- 給湯能力24号のビッグパワーで2ヵ所同時使用でもたっぷり出湯!!
- ふたをしたままお湯はり・保温・足し湯の全自動!!
- 温水利用でお部屋の空気を汚さない快適暖房!!
- 熱源機の不具合をエラーコードでお知らせします!!
- 2階浴そうへのお湯はりが可能!!



もくじ

早見表・・・・・・・・・・4	各部のなまえ・・・6	使いかた・・・・・・・・・・11	必ずお守りください・・・22	こんなときは・・・・・・・・25
		準備・・・・・・・・・・11		・故障かな?・・・・・・・・25
		・給湯のしかた・・・・・・・・12		・日常の点検とお手入れ・・・29
		・自動運転のしかた・・・・・・・・13		・凍結予防のしかた・・・・・・・・31
		・追いだきのしかた・・・・・・・・16		・仕様・・・・・・・・・・36
		・扉開きのしかた・・・・・・・・17		・アフターサービス・・・・・・・・38
		・予約時刻の合わせかた・・・・・・・・18		・保証書・・・・・・・・・・39
		・予約運転のしかた・・・・・・・・19		
		・追いだきのしかた・・・・・・・・20		

取扱説明

AT-364RSA-AQ
 AT-364RSA2-AQ
 AT-364RSA4-AQ
 AT-364FSA-AQ
 AT-364RSA-AWQ
 AT-364RSA2-AWQ
 AT-364RSA4-AWQ
 AT-364FSA-AWQ

〈AT-364RSA-AQ〉
 〈AT-364RSA-AQ-F〉
 〈AT-364RSA-AQ-C〉
 〈AT-364FSA-AQ〉
 〈AT-364RSA-AWQ〉
 〈AT-364RSA-AWQ-F〉
 〈AT-364RSA-AWQ-C〉
 〈AT-364FSA-AWQ〉

5 4 0
 5 4 0
 5 4 0
 5 4 0
 5 4 0
 5 4 0
 5 4 0
 5 4 0

1 3 6 2
 7 3 3 4
 2 3 6 6
 8 3 6 8
 9 3 6 3
 4 3 6 5
 0 3 6 7
 6 3 6 9

13011

取扱説明

AT-364RSA-AQ
 AT-364RSA2-AQ
 AT-364RSA4-AQ
 AT-364FSA-AQ
 AT-364RSA-AWQ
 AT-364RSA2-AWQ
 AT-364RSA4-AWQ
 AT-364FSA-AWQ

(AT-364RSA-AQ)
 (AT-364RSA-AQ-F)
 (AT-364RSA-AQ-C)
 (AT-364FSA-AQ)
 (AT-364RSA-AWQ)
 (AT-364RSA-AWQ-F)
 (AT-364RSA-AWQ-C)
 (AT-364FSA-AWQ)

5
5
5
5
5
5
5
5
5

4
4
4
4
4
4
4
4
4

0
0
0
0
0
0
0
0
0

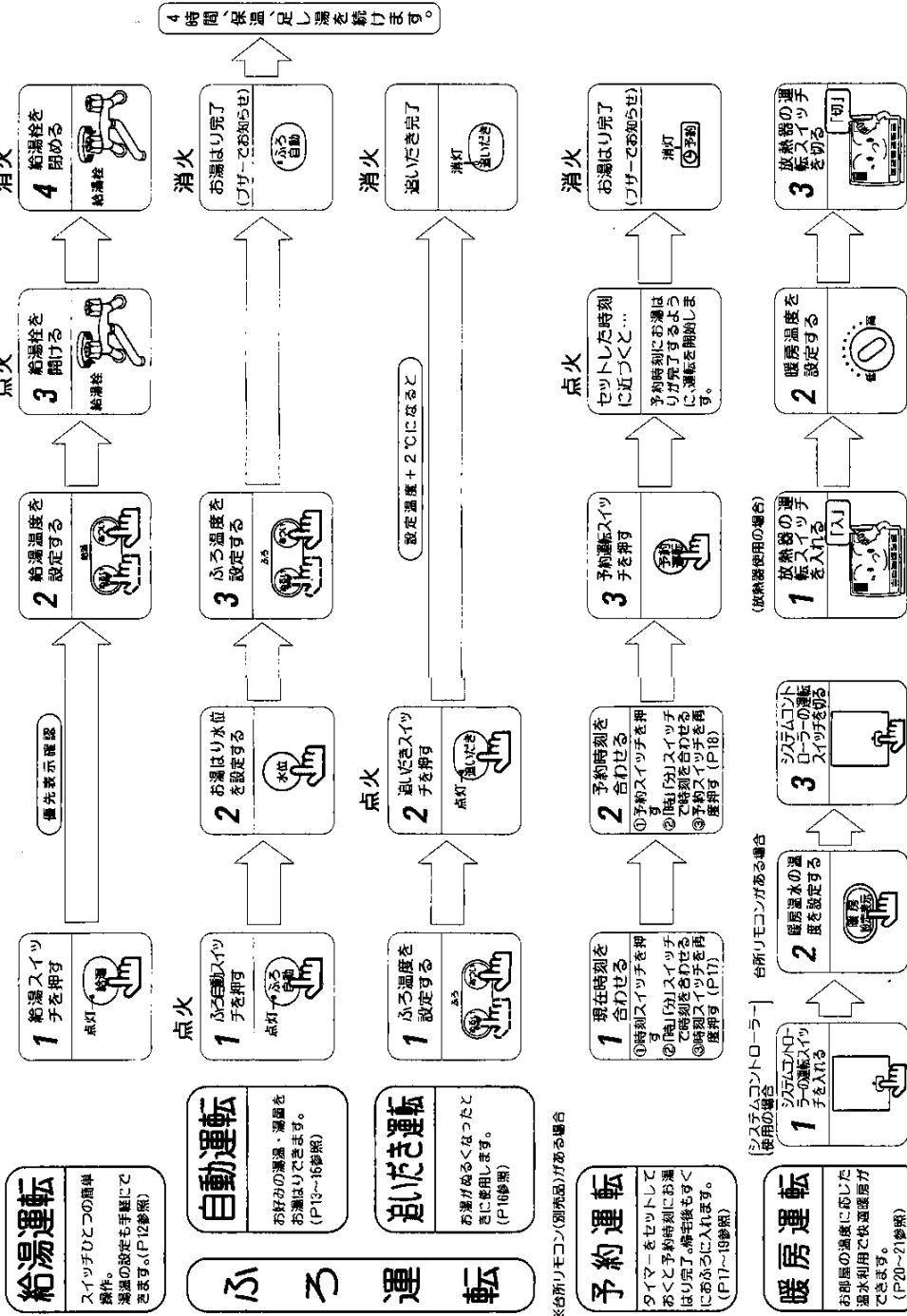
1
7
2
8
9
4
0
0
0

3
3
3
3
3
3
3
3
3

0
0
0
0
0
0
0
0
0

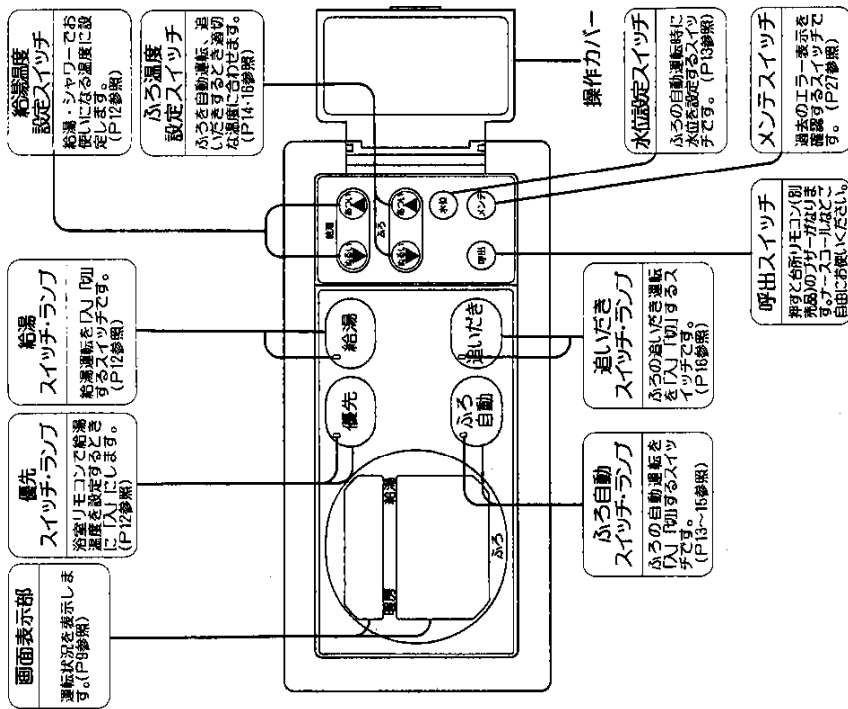
13021

早見表

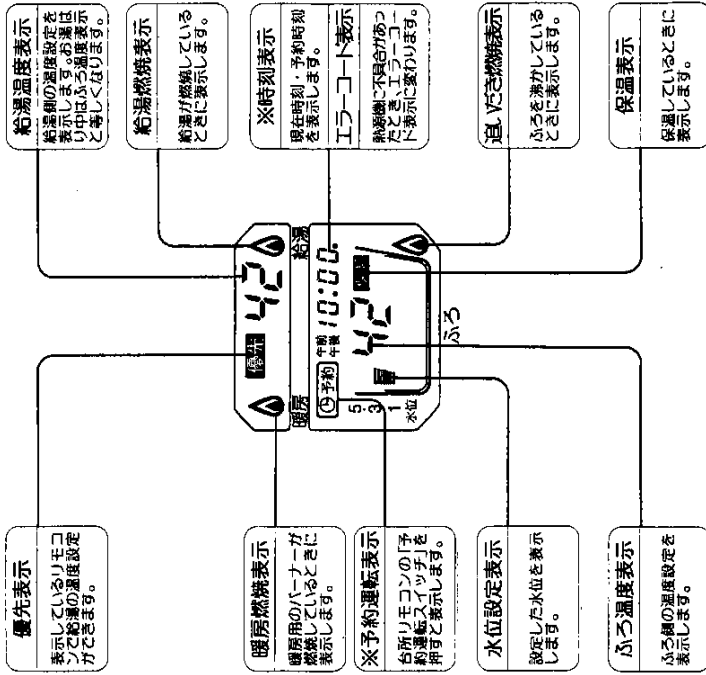


各部のなまえ

●浴室リモコン



●画面表示部 (浴室リモコン)



●給湯温度「ふろ」の表示は温度設定の目安です。
●上記画面表示は故障のため、全部表示したものではありません。燃焼の運転のときは該当部分が表示されます。
※は台所リモコン(別売品)のあるときの表示です。

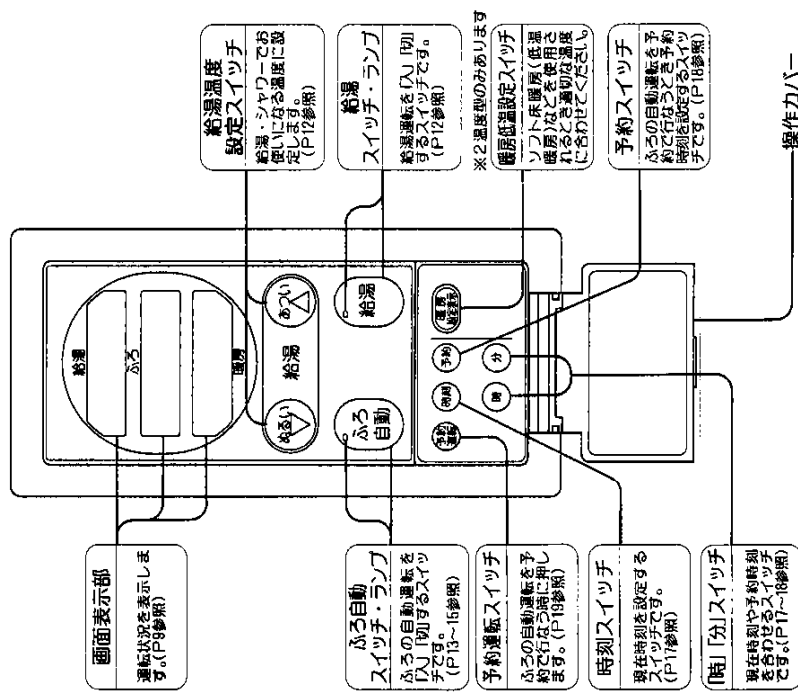
取扱説明

AT-364RSA-AQ (AT-364RSA-AQ)
 AT-364RSA2-AQ (AT-364RSA-AQ-F)
 AT-364RSA4-AQ (AT-364RSA-AQ-C)
 AT-364FSA-AQ (AT-364FSA-AQ)
 AT-364RSA-AWQ (AT-364RSA-AWQ)
 AT-364RSA2-AWQ (AT-364RSA-AWQ-F)
 AT-364RSA4-AWQ (AT-364RSA-AWQ-C)
 AT-364FSA-AWQ (AT-364FSA-AWQ)

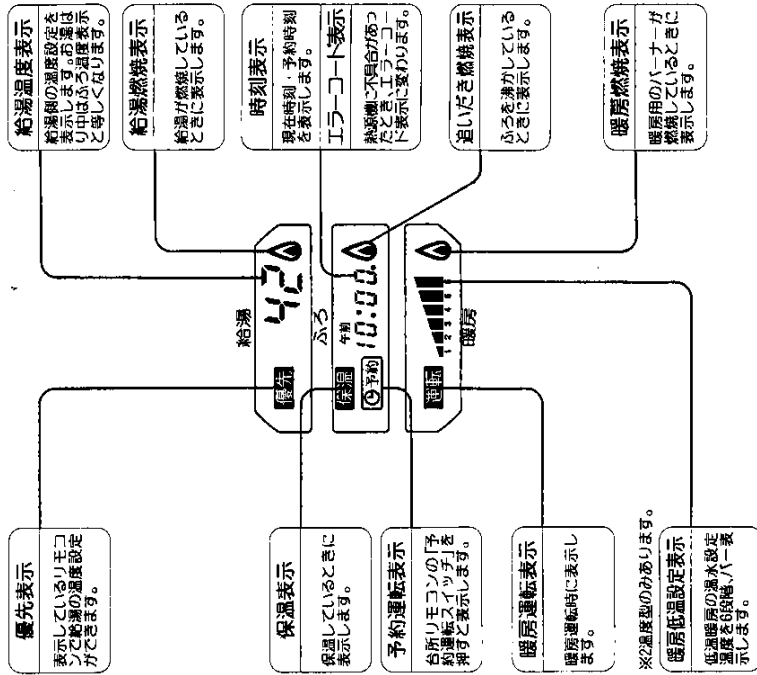
5	4	0	1	3	2
5	4	0	7	3	6
5	4	0	3	3	4
5	4	0	2	3	6
5	4	0	0	3	6
5	4	0	8	3	3
5	4	0	9	3	6
5	4	0	4	3	8
5	4	0	0	3	5
5	4	0	0	3	6
5	4	0	0	3	7
5	4	0	6	3	9
				1	3031

各部のなまえ

●台所リモコン (別売品)



●画面表示部 (台所リモコン)



- 給湯温度の表示は温度設定の目標です。
- 上記画面表示は説明のため、全機表示したものではありません。

取扱説明

AT-364RSA-AQ (AT-364RSA-AQ)
 AT-364RSA2-AQ (AT-364RSA-AQ-F)
 AT-364RSA4-AQ (AT-364RSA-AQ-C)
 AT-364FSA-AQ (AT-364FSA-AQ)
 AT-364RSA-AWQ (AT-364RSA-AWQ)
 AT-364RSA2-AWQ (AT-364RSA-AWQ-F)
 AT-364RSA4-AWQ (AT-364RSA-AWQ-C)
 AT-364FSA-AWQ (AT-364FSA-AWQ)

5 4 0
 5 4 0
 5 4 0
 5 4 0
 5 4 0
 5 4 0
 5 4 0
 5 4 0

1 3 0 4 1

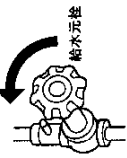
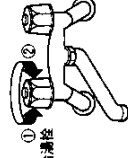
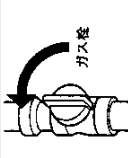
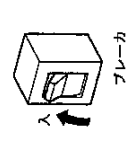


取扱説明

AT-364RSA-AQ (AT-364RSA-AQ)
 AT-364RSA2-AQ (AT-364RSA-AQ-F)
 AT-364RSA4-AQ (AT-364RSA-AQ-C)
 AT-364FSA-AQ (AT-364FSA-AQ)
 AT-364RSA-AWQ (AT-364RSA-AWQ)
 AT-364RSA2-AWQ (AT-364RSA-AWQ-F)
 AT-364RSA4-AWQ (AT-364RSA-AWQ-C)
 AT-364FSA-AWQ (AT-364FSA-AWQ)

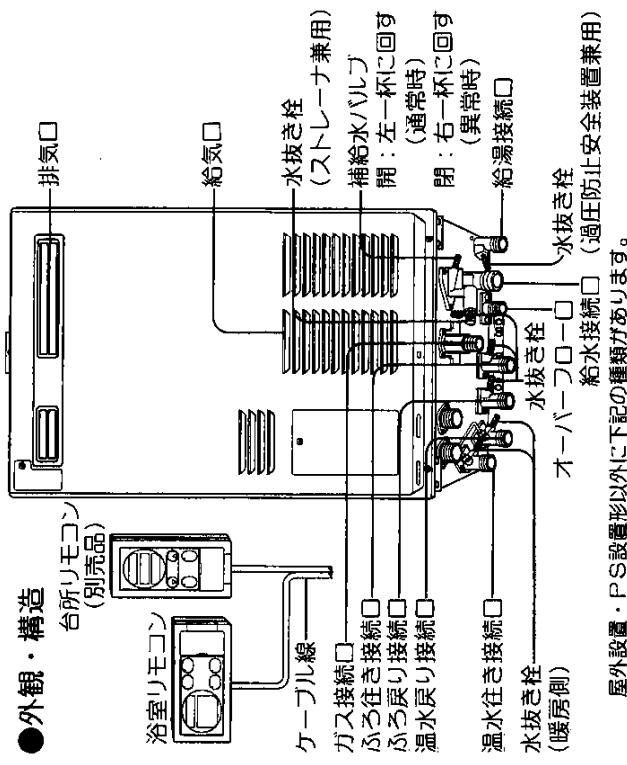
5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5
 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4
 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
 1 7 8 8 9 4 0 3 6 6 6 6
 7 7 8 8 9 4 0 3 6 6 6 6
 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3
 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6
 2 4 6 8 3 5 7 7 7 7 9 9
 2 4 6 8 3 5 7 7 7 7 9 9

13051

備 準 使いかた

- 1 給水元栓を全開にする

- 2 給湯栓を開け、
 ①水の出ることを確認し、
 ②閉める

- 3 ガス栓を全開にする

- 4 熱源機用のブレーカを「入」にする

- 5 ふろ自動スイッチを「入」にする
 浴そとに湯の出ることを確かめ、
 再度ふろ自動スイッチを押し、湯を止める。

- 6 時刻設定をする
 P.17に従って時刻を合わせます。(台所リモコンが付いている場合)


各部のなまえ



品名	機器コード	型式名	設置方式
AT-364RSA-AQ	5401362	AT-364RSA-AQ	屋外式
AT-364RSA-AWQ(2温度型)	5409363	AT-364RSA-AWQ	屋外式
AT-364RSA2-AQ	5407364	AT-364RSA-AQ-F	屋外式
AT-364RSA2-AWQ(2温度型)	5404365	AT-364RSA-AWQ-F	7ルノー7温度形
AT-364RSA4-AQ	5402366	AT-364RSA-AQ-C	屋外式
AT-364RSA4-AWQ(2温度型)	5400367	AT-364RSA-AWQ-C	扉内設置形
AT-364FSA-AQ	5408368	AT-364FSA-AQ	扉内設置形
AT-364FSA-AWQ(2温度型)	5400369	AT-364FSA-AWQ	扉内設置形

[注] 台所リモコン(別売品)は下記のリモコンを使用してください。

熱源機	台所リモコン品番
標準形(AQ)	Aタイプリモコン・364A
2温度型(AWQ)	Aタイプリモコン・364AW

使いかた 給湯のしかた

1 給湯スイッチを押す

- 浴室リモコン・台所リモコン（別売品）のどちらかの給湯スイッチを押す。



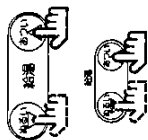
- 給湯温度は、前回設定の温度を表示します。

2 給湯温度設定スイッチを押して温度を設定する


- 必ず「優先」表示の点灯確認をしてから温度の設定をします。「優先」表示がされていないリモコンでは温度設定はできません。

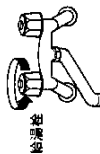
〈台所リモコン(別売品)で設定する場合〉

- お好みの温度に設定します。
- 「優先」表示が消えている時は、浴室リモコンの優先スイッチを押し、台所リモコンへ優先を戻します。
- 〈浴室リモコンで設定する場合〉
- お好みの温度に設定します。
- 「優先」表示が消えている時は、浴室リモコンの優先スイッチを押します。



3 給湯栓を開ける

- 給湯側の「」が表示し、お湯が出ます。
- エラーコード「11」が表示しているときは、一度給湯栓を閉め、しばらく待つた後、開栓します。



4 給湯栓を閉める

- バーナーが消火し、給湯側の「」が消えます。



- 燃焼用送風機は、バーナー消火後、約5分で停止します。

ご注意

- お湯はり中、給湯すると → おふろと同じ温度のお湯が出てきます。

使いかた 自動運転のしかた


- 自動運転の機能・原理は15ページを参照してください。
- 浴そうの排水栓を閉じてください。
- 浴そうにフタをしてください。

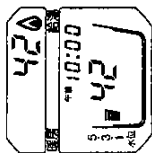
点火

1 ふろ自動スイッチを押す

- ふろ自動ランプが点灯し、自動運転に入ります。
- エラーコード表示「11」が表示する場合は、ふろ自動スイッチを「閉」にし、再度「入」にします。

ご注意

- 給湯使用中に、ふろ自動スイッチを「入」にしたとき自動運転にならない場合があります。この場合給湯栓を閉めると、自動運転を開始します。
- 自動運転中に「」が表示したり消えたりします。異常状態ではありません。

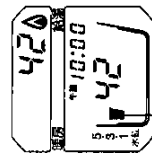
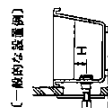


浴室リモコンで

2 お湯はり水位を設定する

- 水位設定スイッチを押し、適切な湯量になる数字にバー表示を合わせます。
- バー表示は押すごとに水位は上がり、「5」までくると下がります。
- 右側の数字で一度運転し、水位が高いときは小さな数字に、水位が低いときは大きな数字に合わせて、翌日試してください。

水位設定目盛	寸法(mm)
5	約40
4	約33
3	約27
2	約20
1	約14



ご注意

- 深い浴そうのとき → 水位を高くするとあふれることがあります。また、浴そうの形により、水位は多少変わります。

取扱説明

AT-364RSA-AQ
 AT-364RSA2-AQ
 AT-364RSA4-AQ
 AT-364FSA-AQ
 AT-364RSA-AWQ
 AT-364RSA2-AWQ
 AT-364RSA4-AWQ
 AT-364FSA-AWQ

〈AT-364RSA-AQ〉
 〈AT-364RSA-AQ-F〉
 〈AT-364RSA-AQ-C〉
 〈AT-364FSA-AQ〉
 〈AT-364RSA-AWQ〉
 〈AT-364RSA-AWQ-F〉
 〈AT-364RSA-AWQ-C〉
 〈AT-364FSA-AWQ〉

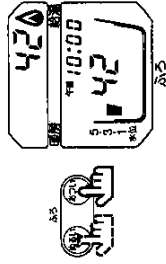
5	4	0	1	3	6	2			
5	4	0	7	3	6	4			
5	4	0	2	3	6	6			
5	4	0	8	3	6	8			
5	4	0	9	3	6	3			
5	4	0	0	3	6	5			
5	4	0	4	3	6	7			
5	4	0	6	3	6	9			
							130	61	

使いかた 自動運転のしかた

浴室リモコンで

3 ふろ温度を設定する

- 適切な温度に合わせます。
- 約35℃～約50℃の範囲で設定できます。



消火

設定した水位・温度になると自動的に消火し、フザーでお知らせします。(「保温」が表示され、4時間、保温・足し湯を続けます。)

4 途中で消火したい場合 または自動運転を止める場合

ふろ自動スイッチを押す

- ふろ自動ランプが消えます。



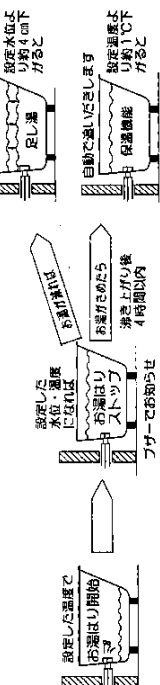
ご注意

- お湯はり中や追いだし中は
→水や空気を吸い込む音が出たり、浴槽のアタプターから泡が出る場合があります。異常ではありません。
- お湯はり中、給湯するとき
→湯温はふろ温度と同じになります。温度設定したいときは、お湯はりを止めてから行なってください。
- 入浴するとき
→お湯はり時間が長くなる場合があります。
- 必ず湯を吹きまげば温度を確かめてください。

知っておきたいこと

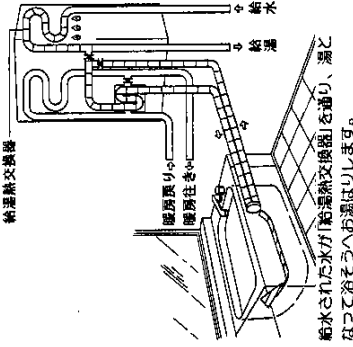
自動(お湯はり・保温)運転とは

ふろ自動スイッチを押すことで次の動作を熱源機が自動で行ないます。

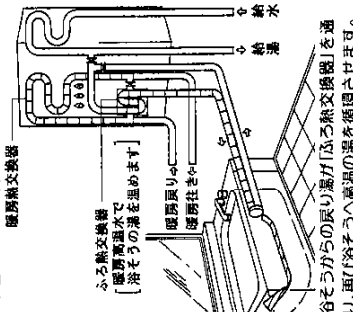


自動運転の原理

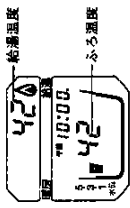
〈お湯はり(足し湯)の場合〉



〈追いだし(保温)の場合〉



- お湯はり時は、「給湯熱交換器」が働いたため、リモコンの「給湯温度」は「ふろ温度」に等しくなります。



保温・足し湯運転中は

- 湯検知は10分毎にポンプで循環して行ないます。
- 自動運転は、設定した水位・湯温でお湯はり完了後4時間後に、自動的に停止します。(ふろ自動ランプと保温表示が消えます。)

取扱説明

AT-364RSA-AQ
AT-364RSA2-AQ
AT-364RSA4-AQ
AT-364FSA-AQ
AT-364RSA-AWQ
AT-364RSA2-AWQ
AT-364RSA4-AWQ
AT-364FSA-AWQ

〈AT-364RSA-AQ〉
〈AT-364RSA-AQ-F〉
〈AT-364RSA-AQ-C〉
〈AT-364FSA-AQ〉
〈AT-364RSA-AWQ〉
〈AT-364RSA-AWQ-F〉
〈AT-364RSA-AWQ-C〉
〈AT-364FSA-AWQ〉

5	4	0	1	3	6	2
5	4	0	7	7	6	4
5	4	0	0	3	6	8
5	4	0	2	3	6	6
5	4	0	8	3	6	8
5	4	0	9	3	6	3
5	4	0	0	3	6	5
5	4	0	4	3	6	7
5	4	0	0	3	6	9

13071

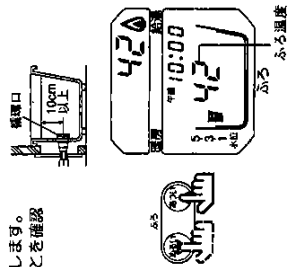
使いかた 追いだきのしかた

- 入浴時など湯がぬるくなつたときの追いだきを使用します。
 ● 浴槽の循環口より10cm以上水が入っていることを確認してから操作してください。

1 浴室リモコンで

ふろ温度を設定する

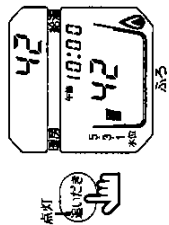
- 約35℃～約50℃の間で設定できます。



2 点火

追いだきスイッチを押す

- 追いだきランプが点灯し、ふろ側の「追いだき」が表示し、追いだきをほしめれます。
- エアコード「113」が表示する場合は、追いだきスイッチを「閉」にし、再度「入」にします。



3 消火

- 設定したふろ温度より約2℃高い温度まで沸き上げると自動的に消火します。

途中で消火したい場合

追いだきスイッチを押す

- 追いだきランプとふろ側の「追いだき」表示が消えます。



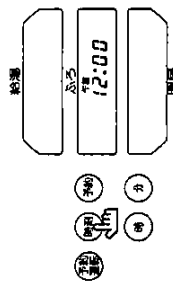
使いかた 現在時刻の合わせかた

(別売品の台所リモコンが付いている場合。)

- 台所リモコンの操作カバーを開けて行ってください。
- 電源が「入」の状態で「0 0 0」を点滅します。
- 各スイッチの「入」「閉」に関係なくセットできます。

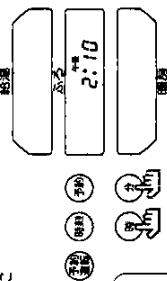
1 時刻スイッチを押す

- 「午前12:00」が点滅します。



2 現在時刻を合わせる

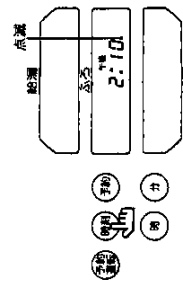
- (例、現在時刻が、午後2時10分の場合)
- 「時」スイッチを押して「午後2:00」にします。
- 次に「分」スイッチを押して「午後2:10」にします。



- 「時」「分」スイッチは、一度押すと各々1時間、1分ずつ変わります。押し続けると連続して表示が変わります。

3 時刻スイッチを押す

- 時刻表示が点滅から点灯に変わり、時計が動きはじめます。
- 時刻表示の右下の「●」が点滅します。



取扱説明

AT-364RSA-AQ
 AT-364RSA2-AQ
 AT-364RSA4-AQ
 AT-364FSA-AQ
 AT-364RSA-AWQ
 AT-364RSA2-AWQ
 AT-364RSA4-AWQ
 AT-364FSA-AWQ

〈AT-364RSA-AQ〉
 〈AT-364RSA-AQ-F〉
 〈AT-364RSA-AQ-C〉
 〈AT-364FSA-AQ〉
 〈AT-364RSA-AWQ〉
 〈AT-364RSA-AWQ-F〉
 〈AT-364RSA-AWQ-C〉
 〈AT-364FSA-AWQ〉

5	4	0	1	3	6	2
5	4	0	7	3	6	4
5	4	0	0	2	6	6
5	4	0	0	3	6	6
5	4	0	8	3	6	8
5	4	0	9	3	6	3
5	4	0	0	3	6	5
5	4	0	0	3	6	7
5	4	0	0	3	6	9

13081

使いかた 予約時刻の合わせかた

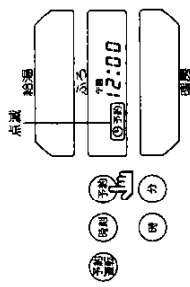
(別売品の台所リモコンが付いている場合。)

- 予約時刻とは「お湯はり」がほぼ完了する時刻をいいます。
- 台所リモコンの操作パネルを開けて行ってください。
- 現在時刻を合わせていないと、予約時刻はセットできません。
- 各スイッチの「A」「B」に関係なくセットできます。

1 予約スイッチを押す

- 「午前12:00」と「(25時)」が点滅します。

● 予約時刻をそのまま(約15分以上)にしておきますと予約時刻はセットされ自動的に現在時刻にもとります。

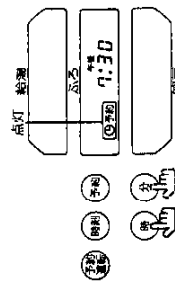


2 予約時刻を合わせる

(例：予約時刻が、午後7時30分の場合)

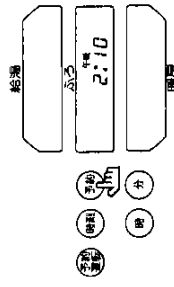
- 「時」スイッチを押して「午後7:00」にします。次に「分」スイッチを押して「午後7:30」にします。

● 「時」、「分」スイッチは、一度押すと各々1時間、1分ずつ変わります。押し続けると連続して表示が変わります。



3 予約スイッチを押す

- 現在時刻が変わると同時に予約時刻がセットされます。



使いかた

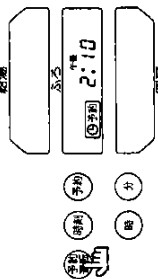
予約運転のしかた

(別売品の台所リモコンが付いている場合。)

- 予約運転前に次のことを確認してください。
- 浴槽の排水栓を閉じてください。
- 浴槽に水を満たしてください。
- お湯はり水位と成る温度を確認してください。(自動運転で設定した水位と、湯温になります。)
- 現在時刻・予約時刻を合わせてあります。

1 予約運転スイッチを押す

- 「(25時)」が表示します。
- 予約時刻近くになると運転を始めます。

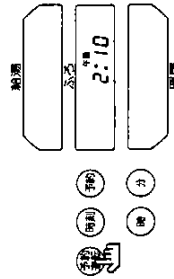


- 予約時刻に「お湯はり」がほぼ完了します。

途中で取り消す場合

2 予約運転スイッチを押す

- 「(25時)」表示が消えます。



予約運転とは

- 予約時刻に「お湯はり」がほぼ完了することをいいます。
- 予約時刻になると、プザーーでお知らせします。
- 予約運転設定中(加熱機が動き出すまでの間)はふる自動スイッチ、追いだきスイッチを押してもスイッチは入りません。
- 予約運転設定中でも「給湯」は使用できます。
- この場合「お湯はり」が完了する時刻が遅くなる場合があります。
- 予約時刻を忘れた場合は、予約スイッチを押すと確認できます。

取扱説明

AT-364RSA-AQ
AT-364RSA2-AQ
AT-364RSA4-AQ
AT-364FSA-AQ
AT-364RSA-AWQ
AT-364RSA2-AWQ
AT-364RSA4-AWQ
AT-364FSA-AWQ

〈AT-364RSA-AQ〉
〈AT-364RSA-AQ-F〉
〈AT-364RSA-AQ-C〉
〈AT-364FSA-AQ〉
〈AT-364RSA-AWQ〉
〈AT-364RSA-AWQ-F〉
〈AT-364RSA-AWQ-C〉
〈AT-364FSA-AWQ〉

5	4	0	1			
5	4	0	7	3		
5	4	0	2	3		
5	4	0	0	6		
5	4	0	9	6		
5	4	0	4	6		
5	4	0	0	6		
5	4	0	6	6		
5	4	0		7		
5	4	0				
						13091


使いかた 暖房のしかた

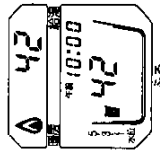
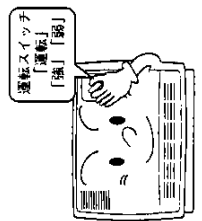
運転

放熱器の運転

●放熱器の操作は、それぞれの説明書に従ってください。


1 放熱器の運転スイッチを入れる

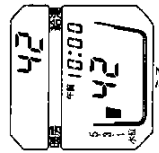
- リモコンの「」と、「運転」(台所リモコンのみ)が表示され、暖房運転をはじめます。
- リモコンのエラーコード表示「113」が表示している場合、すべての放熱器を「切」にし、しばらく待ってから放熱器を「入」にしてください。



停止

放熱器の運転スイッチを切る

- リモコンの「」と「運転」(台所リモコンのみ)が消えます。



運転スイッチはゆっくりに操作してください。
高に「切」にすると「コトーン」という音がすることがあります。


※詳しくは、放熱器の説明書を参照してください。

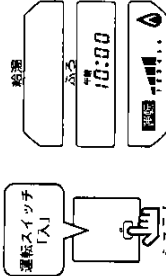
運転

システムコントローラーの運転 (2温度型のみ)

●システムコントローラーの操作は、それぞれの説明書に従ってください。

1 システムコントローラーの運転スイッチを入れる

- 台所リモコンの「運転」(バー表示)、「」が表示され、自動的に熱源機が運転します。



別売品の台所リモコンがついている場合。

2 台所リモコンで暖房温水の温度を設定する

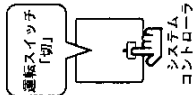
- 暖房低温設定スイッチを押し、適切な温度になる数字にバー表示を合わせます。
- バー表示は暖房低温設定スイッチを押す以上、かついては、6までくると下がっていきます。
- 床暖房の温水温度は約45～約70℃の間で設定できます。



バー表示: 温水設定温度	約
1	約45℃
2	約50℃
3	約55℃
4	約60℃
5	約65℃
6	約70℃

停止

システムコントローラーの運転スイッチを切る



台所リモコンがない場合、床暖房の温水温度は、約55℃に設定されています。

取扱説明

AT-364RSA-AQ
AT-364RSA2-AQ
AT-364RSA4-AQ
AT-364FSA-AQ
AT-364RSA-AWQ
AT-364RSA2-AWQ
AT-364RSA4-AWQ
AT-364FSA-AWQ

(AT-364RSA-AQ)
(AT-364RSA-AQ-F)
(AT-364RSA-AQ-C)
(AT-364FSA-AQ)
(AT-364RSA-AWQ)
(AT-364RSA-AWQ-F)
(AT-364RSA-AWQ-C)
(AT-364FSA-AWQ)

5	4	0	1	3	6	2
5	4	0	7	3	6	4
5	4	0	2	3	6	6
5	4	0	8	3	6	8
5	4	0	9	3	6	3
5	4	0	4	3	6	5
5	4	0	0	3	6	7
5	4	0	6	3	6	9

13101

取扱説明

AT-364RSA-AQ
AT-364RSA2-AQ
AT-364RSA4-AQ
AT-364FSA-AQ
AT-364RSA-AWQ
AT-364RSA2-AWQ
AT-364RSA4-AWQ
AT-364FSA-AWQ

(AT-364RSA-AQ)
(AT-364RSA-AQ-F)
(AT-364RSA-AQ-C)
(AT-364FSA-AQ)
(AT-364RSA-AWQ)
(AT-364RSA-AWQ-F)
(AT-364RSA-AWQ-C)
(AT-364FSA-AWQ)

5	4	0	1	6	2
5	4	0	7	6	4
5	4	0	2	6	6
5	4	0	8	6	8
5	4	0	9	6	3
5	4	0	4	6	5
5	4	0	3	6	7
5	4	0	6	6	9

13111

必ずお守りください

停電・断水のときは

- 1 給湯栓を閉める
給湯栓
- 2 <断水のみのみ>
リモコンのスイッチを「切」にする
給湯 止む 使うとき

長期間・長時間使用しないときは

- 1 リモコンのスイッチを「切」にする
給湯 止む 使うとき

<長期間のみ>

- 2 給水元栓を閉める
給水元栓

水抜きを行なう(※33ページ)

異常のときは
異常燃焼、臭気、異常音を感じたとき
地震、火災のとき

- 1 給湯栓を閉める
給湯栓
- 2 リモコンのスイッチを「切」にする
給湯 止む 使うとき
- 3 給水元栓・ガス栓を閉める
給水元栓 ガス栓
- 4 お買い上げの販売店
またはもよりの
ガス会社に連絡を！

安全のために

- 給湯以外には使用しない！
- 火傷に注意！
(使用中や湯火直後は、絶対に触れない)
- 雷のとき使わない！
(ブレーカーを「切」にする)
- 混合水栓を使用の場合！
• ときどき水回しを流してください。
お水栓の水が長い間流れないと一瞬、にごりだす(お水栓)が出る場合があります。
• サーモミキシングバルブを使うとき
リモコンの温度設定をバルブの温度設定より高め(3~5℃)にしてご使用ください。
• 出口が絞られていないもの(瞬間湯沸器用混合水栓)を流してください。
• 水圧の低い地域では湯水栓を使用しないでください。
- 故障に注意！
• この熱源機の付属品、補助用具以外は使用しないでください。
• 研磨、酸、アルカリを含んだ洗剤、洗剤はそれらの注意書きをよく読んでください。
- 感電事故に注意！
• 電源プラグはぬれた手で絶対にさわらないでください。
- 夏期などぬるめのお湯が出ないとき
• 夏期は水温が高いため、湯量を多くしてお使いください。

注意事項

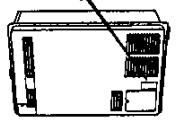
必ずお守りください

使用ガス・電源

■ 必ず銘板のガス・電源を使う！

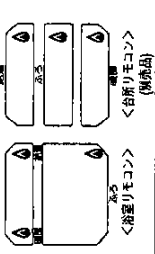
(※AT-364RSA-AQの場合)

ガス配管接続仕様	ガス
型式	AT-364RSA-AQ
額定容量	15kW
消費電力	15kW
電圧	AC100V 50/60Hz
電線径	φ2.0mm



ガス事故防止のために


■ 燃焼状態を確認する！



点火時、消火時、使用中、リモコンの燃焼表示点灯、消灯を確認。

■ ガス漏れに気づいたとき！

すぐ使用をやめ、給水弁を閉じ、お買い上げの販売店または最寄りのガス会社に連絡を。



ご確認を


■ 使用後は

- リモコンのスイッチを切る。

■ ご確認を！

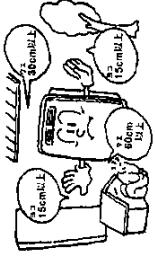
- 入浴時、シャワー使用時は必ず湯温を確認し、使用してください。
- 同時に他の給湯栓を使うと湯温が低くなるったり、湯量が少ないことがある。

絶対に火をつけたり、電気器具のスイッチの口入(口)がない。



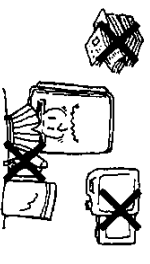
火災防止のために

■ 壁や可燃物から十分離す！



■ 近くに燃えやすいものを置かない！

給排気口をおおわない！



故障かな？

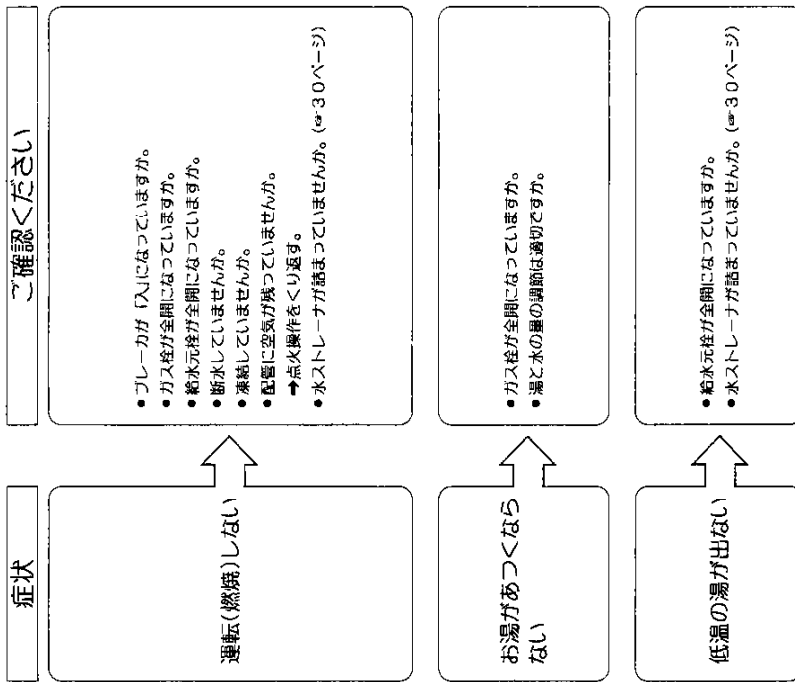
● 停電・断水・ガスの供給が停止した時

給湯・シャワー	停電	断水	ガスの供給停止
<p>〈停電時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 運転は、停止します。水は出続けず、給湯栓を閉じてください。 〈再通電後〉 使いかた(※12ページ)によりご使用ください。 	<p>〈断水時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 運転は、停止します。給湯栓を閉じてください。 給湯スイッチを「切」にし、再通水後、使いかた(※12ページ)によりご使用ください。 	<p>〈供給停止時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 運転は、停止します。水は出続けず、給湯栓を閉じてください。 給湯スイッチを「切」にし、再通水後、使いかた(※12ページ)によりご使用ください。 	<p>〈供給停止時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 運転は、停止します。水は出続けず、給湯栓を閉じてください。 給湯スイッチを「切」にし、再通水後、使いかた(※12ページ)によりご使用ください。
<p>風呂</p> <p>自動運転</p>	<p>〈停電時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 運転は、停止します。〈再通電後〉 使いかた(※13～16ページ)によりご使用ください。 	<p>〈断水時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 運転は、停止します。風呂自動スイッチを「切」にしてください。 エラーコード412が点滅します。その場合は、再通水後27ページに従ってください。 	<p>〈供給停止時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 運転は、停止します。風呂自動スイッチを「切」にしてください。 〈供給再開後〉 使いかた(※13～16ページ)によりご使用ください。
<p>風呂</p> <p>追いだき</p>	<p>〈停電時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 運転は、停止します。〈再通電後〉 使いかた(※16ページ)によりご使用ください。 	<p>〈断水時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 通常は、正常運転します。 	<p>〈供給停止時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 運転は、停止します。追いだきスイッチを「切」にしてください。 〈供給再開後〉 使いかた(※16ページ)によりご使用ください。
<p>暖房</p>	<p>〈停電時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 運転は、停止します。すべての放熱器などの運転スイッチを「切」にしてください。 〈再通電後〉 使いかた(※20～21ページ)によりご使用ください。 	<p>〈断水時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 運転は、正常運転します。エラーコード543が点滅し、運転が停止する場合があります。その場合は、お近くのガス会社に連絡してください。 	<p>〈供給停止時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 運転は、停止します。すべての放熱器の運転スイッチを「切」にしてください。 〈供給再開後〉 使いかた(※20～21ページ)によりご使用ください。

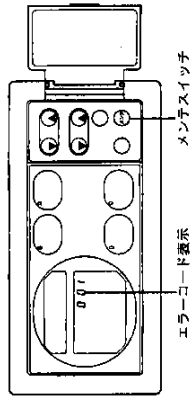
取扱説明	AT-364RSA-AQ	(AT-364RSA-AQ)	5	4	0	1	
	AT-364RSA2-AQ	(AT-364RSA-AQ-F)	5	4	0	7	
	AT-364RSA4-AQ	(AT-364RSA-AQ-C)	5	4	0	3	
	AT-364FSA-AQ	(AT-364FSA-AQ)	5	4	0	2	
	AT-364RSA-AWQ	(AT-364RSA-AWQ)	5	4	0	9	
	AT-364RSA2-AWQ	(AT-364RSA-AWQ-F)	5	4	0	6	
	AT-364RSA4-AWQ	(AT-364RSA-AWQ-C)	5	4	0	6	
	AT-364FSA-AWQ	(AT-364FSA-AWQ)	5	4	0	8	
							8
							9
						13121	

故障かな？

●故障・異常の見分け方、処置方法



処置方法や原因がわからないときは、お買い上げの販売店またはよりのガス会社へご連絡ください。



エラーコードについて
不具合が生じたとき、その原因を
エラーコードでお知らせします。

下記のエラーコードの表示に応じた処置を行なってください。それでも同じ表示が出る場合、お買い上げの販売店またはよりのガス会社へご連絡ください。

表示	原因	処置方法
001	給湯を連続90分以上運転したため。	給湯栓を「閉」にして再度「開」してください。
002	ふろの沸き上げを連続90分以上運転したため。	遠いだしスイッチまたはふろ自動スイッチを押しなおしてください。
032	浴そこの栓を完全に閉じていないため。	ふろ自動スイッチを「切」にして、栓をしつかり閉めて再度「入」してください。
111	給湯側の点火エラーが生じたため。	ガス栓が全開であることを確認後、給湯栓を「閉」にして再度「開」してください。
721	給湯側の回路に異常がおきたため。	ガス栓が全開であることを確認後、遠いだしスイッチ(またはふろ自動スイッチ)を押しなおしてください。(燃焼の放熱器を使用している場合すべての放熱器の運転スイッチを一旦「切」にして再度「入」してください)
113	暖房側およびふろ側の点火エラーが生じたため。	ガス栓が全開であることを確認後、遠いだしスイッチ(またはふろ自動スイッチ)を押しなおしてください。(燃焼の放熱器を使用している場合すべての放熱器の運転スイッチを一旦「切」にして再度「入」してください)
723	暖房側およびふろ側の回路に異常がおきたため。	ガス栓が全開であることを確認後、遠いだしスイッチを「切」にして再度「開」してください。
432	浴そこのお湯がぬるい。	再度通水後、ふろ自動スイッチを「切」にして、再度「入」してください。
412	お湯はり中に断水したため。	再度通水後、ふろ自動スイッチを「切」にして、再度「入」してください。

上記以外の表示が出る場合は、ランプが点灯しているスイッチをいったん「切」にして再操作してください。

取扱説明

AT-364RSA-AQ
AT-364RSA2-AQ
AT-364RSA4-AQ
AT-364FSA-AQ
AT-364RSA-AWQ
AT-364RSA2-AWQ
AT-364RSA4-AWQ
AT-364FSA-AWQ

(AT-364RSA-AQ)
(AT-364RSA-AQ-F)
(AT-364RSA-AQ-C)
(AT-364FSA-AQ)
(AT-364RSA-AWQ)
(AT-364RSA-AWQ-F)
(AT-364RSA-AWQ-C)
(AT-364FSA-AWQ)




5 4 0
5 4 0
5 4 0
5 4 0
5 4 0
5 4 0
5 4 0
5 4 0
5 4 0
5 4 0

1 3 6 2
7 3 6 4
2 3 6 6
8 3 6 6
9 3 6 6
4 3 6 6
0 3 6 7
6 6 6 9

13131

故障かな？

●次のような場合は故障ではありません。

現象	理由
寒い日に排気口から湯気がでる	排気ガスの水蒸気が水蒸気に変わるためであり異常ではありません。
給湯停止後もファンが回転音がする	再使用時の点火をより早くするため約1分間は回転しています。
給湯栓を絞るとお湯が白くなる	水の中の空気が分離して気泡となるためです。
長時間、給湯を使っていると火が消える	給湯を90分間連続して使うと自動的に火が消えるようになっています。
給湯栓を急に閉めるとフツンと音がすることがある	水が急にとまるために発生する音で異常ではありません。
お湯はりに中に給湯の循環口から空気が出て、所コホコと音がする	お湯はりに中のお湯の流れにより空気を吸い込んでいます。
お湯はりを約90分間、連続して使用すると、火が消えて運転を停止する	給湯はりの栓の閉め忘れの時に自動的に消えたりします。
暖房運転中「  」が「  」がつかたり消えたりする	お部屋の温度に応じて「  」がつかたり消えたりします。

異常時には安全装置が働きます

■給湯バーナーの炎が消えた場合	給湯立消え安全装置
■暖房(お湯)の炎が消えた場合	暖房立消え安全装置
■暖房回路の水が万一瞬間に減った場合	空だき防止装置(暖房)
■空だきした場合	空だき安全装置(給湯・暖房)
■熱源機の温度が異常に上昇した場合	過熱防止装置
■熱源回路に漏電が生じた場合	漏電安全装置
■漏電が流れた場合	電流ヒューズ
■熱源機内の水圧が異常に上昇した場合	過圧防止安全装置

リモコンのスイッチを「閉」にし、ガス栓・給水栓を開め、お買い上げの販売店またはよりのガス会社へ連絡してください。



日常の点検とお手入れ

次の要領で定期的に、行なってください。

お手入れの方法

本体


布または、スポンジに台所用洗剤をつけてふきとる。

浴そうフィルター

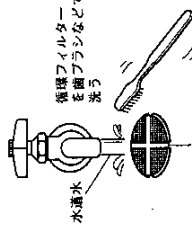
ゴミや湯あかなどをそのままにしておくこと目詰まりを起し熱源機の異常の原因となります。

1 循環フィルターをはずす
まわしてははずす。循環フィルター



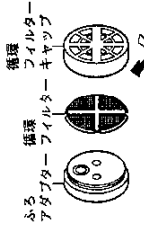
ふろアダプター-フィルター-キャップ

2 歯ブラシなどで洗う



循環フィルターを歯ブラシなどで洗う

3 もとのように取り付ける

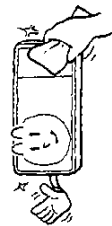



循環フィルター-キャップ

まわしてとりつける。

リモコン

水をつけた布をかたく絞り、軽くふきとる。

取扱説明

AT-364RSA-AQ	<AT-364RSA-AQ>
AT-364RSA2-AQ	<AT-364RSA-AQ-F>
AT-364RSA4-AQ	<AT-364RSA-AQ-C>
AT-364FSA-AQ	<AT-364FSA-AQ>
AT-364RSA-AWQ	<AT-364RSA-AWQ>
AT-364RSA2-AWQ	<AT-364RSA-AWQ-F>
AT-364RSA4-AWQ	<AT-364RSA-AWQ-C>
AT-364FSA-AWQ	<AT-364FSA-AWQ>

5	4	0	1	3	0
5	4	0	7	3	6
5	4	0	2	3	6
5	4	0	8	3	8
5	4	0	9	3	3
5	4	0	0	3	6
5	4	0	4	3	5
5	4	0	0	6	7
5	4	0	6	3	9

13141

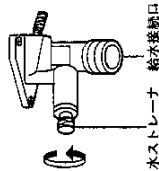
日常の点検とお手入れ

お手入れの方法

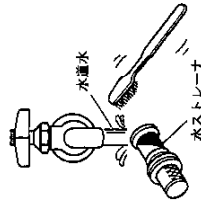
給水側水ストレーナ

お手入れの前に給水弁を閉める。

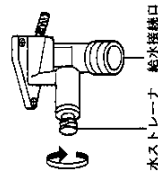
1 給水接続口にある水ストレーナをはずす



2 歯ブラシなどで洗う



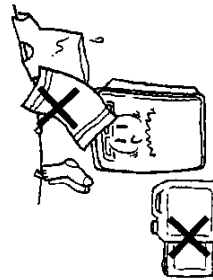
3 もとのように取り付ける



お手入れの後は給水弁を開ける。

点検の方法

- 熱源機の異常音は？
- 外観に異常は見られませんか？
- 周囲に燃えやすいものを置いていませんか？



定期点検のおすすめ

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防止、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店またはもよりのガス会社にご相談ください。
- 熱源機が古くなると熱交換器やバーナーにサビや取り付け場所によりバーナーに「くも」がピヤス、ほこりなどがたついたりします。異常をばらばらにすることがあり、ときどき使用中に異常（異常音、排気不燃な臭い、目にしみるなど）がないか確認してください。異常に気づかれた場合は、使用を中止し、ガス栓を閉めてお買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。



凍結予防のしかた

- 凍結すると熱源機や給湯配管が破損して、水漏れや、熱源機が異常をおこすことがあります。
- 凍結予防ヒーター（オプション）が内蔵されていますが、冷え込みが厳しいときは「方法2」または「方法3」で凍結予防を行ってください。



凍結予防ヒーターによる自動凍結

- 外気温が0℃近くになるとリモコンのスイッチが入り、切に関係なく凍結予防ヒーターのスイッチが入り保温します。



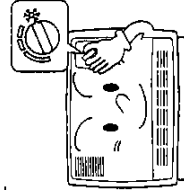
- フレイカは絶対切らないでください。

方法 1

凍結予防熱源運転法

- 外気温が0℃近くになると自動的に燃焼するとともに、ポンプが循環して凍結を予防します。
- さらに寒さが厳しいときは

すべての放熱器などの運転スイッチを「」にする。



取扱説明

AT-364RSA-AQ	(AT-364RSA-AQ)
AT-364RSA2-AQ	(AT-364RSA-AQ-F)
AT-364RSA4-AQ	(AT-364RSA-AQ-C)
AT-364FSA-AQ	(AT-364FSA-AQ)
AT-364RSA-AWQ	(AT-364RSA-AWQ)
AT-364RSA2-AWQ	(AT-364RSA-AWQ-F)
AT-364RSA4-AWQ	(AT-364RSA-AWQ-C)
AT-364FSA-AWQ	(AT-364FSA-AWQ)

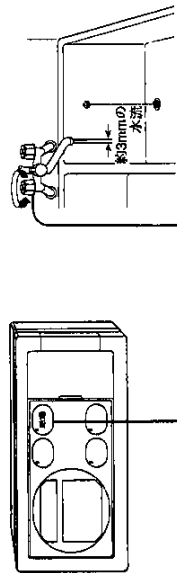
5	4	0	1	3	6	2
5	4	0	7	3	6	4
5	4	0	2	3	6	6
5	4	0	8	3	6	8
5	4	0	9	3	6	3
5	4	0	4	3	6	5
5	4	0	0	3	6	7
5	4	0	6	3	6	9

13151

（ ） へ 入 り 取 り 可

凍結予防のしかた

給湯栓から水を流す (冷え込みが厳しいとき)



2 おふろの
給湯栓を開ける。

1 給湯スイッチを
切る。

ご注意

- 1分間に200cc程度(約3mm)の水を流し、念のため30分後に流量の確認をしてください。
- プレーカは「切」にしないでください。(凍結予防ヒーターによる自動保温も行なっています。)

給湯側
方法 2

ふろ側・暖房側

方法1と同じです。

取扱説明

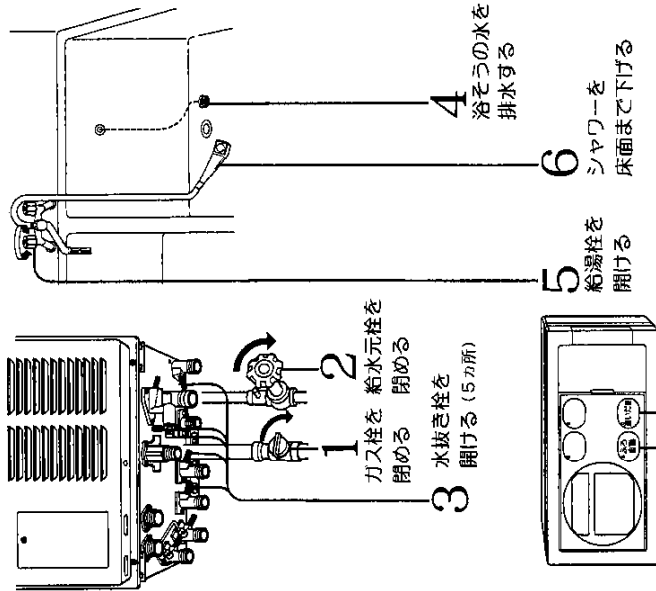
AT-364RSA-AQ
AT-364RSA2-AQ
AT-364RSA4-AQ
AT-364FSA-AQ
AT-364RSA-AWQ
AT-364RSA2-AWQ
AT-364RSA4-AWQ
AT-364FSA-AWQ

(AT-364RSA-AQ)
(AT-364RSA-AQ-F)
(AT-364RSA-AQ-C)
(AT-364FSA-AQ)
(AT-364RSA-AWQ)
(AT-364RSA-AWQ-F)
(AT-364RSA-AWQ-C)
(AT-364FSA-AWQ)

5	4	0	1	3	6	2
5	4	0	7	3	6	4
5	4	0	2	3	6	6
5	4	0	8	3	6	8
5	4	0	9	3	6	3
5	4	0	4	3	6	5
5	4	0	0	3	6	7
5	4	0	6	3	6	9

13161

水抜きをする(長期不在のとき)



給湯側・ふろ側
方法 3

1 ガス栓を給水元栓を
閉める

2 水抜き栓を
開ける(5カ所)

3 給湯栓を
開ける

4 浴そうの水を
排水する

5 シャワーを
床面まで下げる

6 ふろ自動スイッチを
「入」にする

7 約30秒後
追いつきスイッチ
を「入」にする
(浴そうの循環口
より水が出るこ
とを確認)

8 約30秒後
追いつきスイッチ
を「切」にする

9

13161

凍結予防のしかた

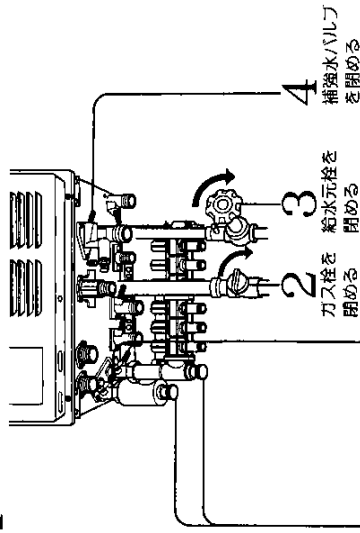
水抜きをする(長期不在のとき)

[不凍液が入っている場合]
方法1と同じです。

[不凍液が入っていない場合]
水抜きをしてください。

[注1] 暖房時に水抜きをする場合は熱源機の電源を「切」にしますので、給湯・ふろ無も必ず水抜きをしてください。(方法3参照)
[注2] この方法では放熱器や接続配管の凍結予防はできませんので、放熱器などの説明書をよくお読みになり凍結予防を行なってください。また、接続配管の保温工事も行なってください。

1 熱源機のブレーカを「切」にする。

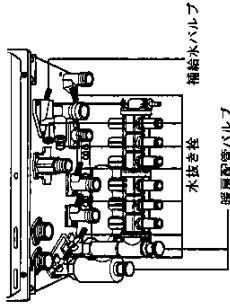


5 暖房配管のバルブを閉める(2カ所)
※(AWQは3カ所)

6 水抜き栓を開ける(2カ所)
※(AWQは3カ所)

暖房側
方法3

水抜き後の再使用のとき



※方法3で水抜きした場合は、熱源機のブレーカを「入」、補給水バルブと暖房配管のバルブを開けてください。

1 水抜き栓を閉める

※以下の手順は11ページの「準備」に従ってお使いください。

2 給水元栓を全開にする

3 給湯栓を開け、水を出し、閉める

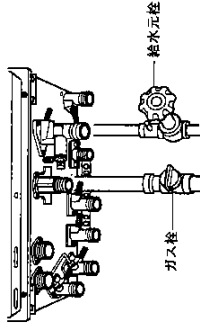
4 ガス栓を全開にする

5 ふろ自動スイッチを押し、湯を出す。再度ふろ自動スイッチを押し、湯を止める。

ご注意

- 凍結したまま使用しないでください。
- 凍結による修理は保証期間内でも有料です。

凍結して水が出ないとき



1 ガス栓を閉める

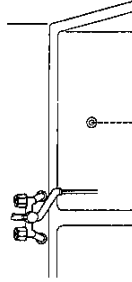
2 給水元栓を閉める

3 給湯スイッチを切る

4 給湯栓を開ける

5 ときどき給水元栓を開け、水が出ることを確認する

※熱源機または配管部に水漏れがないことを確認して使用してください。



配管・バルブの凍結予防

- 方法3または「凍結予防」ターナーによる保温では、配管・バルブ類の凍結予防はできませんので、ご注意ください。

取扱説明

AT-364RSA-AQ
AT-364RSA2-AQ
AT-364RSA4-AQ
AT-364FSA-AQ
AT-364RSA-AWQ
AT-364RSA2-AWQ
AT-364RSA4-AWQ
AT-364FSA-AWQ

(AT-364RSA-AQ)
(AT-364RSA-AQ-F)
(AT-364RSA-AQ-C)
(AT-364FSA-AQ)
(AT-364FSA-AWQ)
(AT-364RSA-AWQ-F)
(AT-364RSA-AWQ-C)
(AT-364FSA-AWQ)

5 4 0 1 3 6 2
5 4 0 7 3 6 4
5 4 0 2 3 6 6
5 4 0 8 3 6 6
5 4 0 9 3 6 3
5 4 0 4 3 6 5
5 4 0 3 3 6 7
5 4 0 6 3 6 9

13171

アフターサービス

保証書について

- 取扱説明書の39ページが保証書になっています。必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

サービスを依頼される前に

- まず75～28ページの「故障かな?」を確認のうえ、なお異常のあるときは、お買い上げの販売店またはもよりの東京ガスにご連絡ください。
- アフターサービスをお申し付けのときは、次のことをお知らせください。
 - ご氏名・ご住所・電話番号・通帳(付近の目印)
 - 品名……………ガス給湯器機 AT-364RSA-000、AT-364FSA-000
 - 機器コード……………
 - お買い上げ日
 - 故障または異常の内容(エラーコードなどをご記入)
 - 訪問ご希望日

補修用性能部品の最低保期間について

補修用性能部品(機能維持のために必要な部品の)最低保期間は製造打切り後10年です。

転居または機器を移設される時

- ガスの種類が異なる地域、または電源周波数の異なる地域へ転居される場合は、調整・改造の必要が異なります。お買い上げの販売店または転居先のガス会社にご相談ください。
- 地味染などのため熱源機を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店またはもよりの東京ガスにご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きくなりやすいような場所をお避けください。また、熱源機本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を避けてください。
- 転居、移設に伴う調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービス等についてわからないとき

購入店またはもよりの東京ガス(表紙紙一覽表ご参照)にお問い合わせください。

保守契約制度

- 保守契約制度(有料)に加入いただく、定期点検を専門家が責任をもって行ないます。この保守契約につきましては、お買い上げの販売店か、お近くの東京ガスにご相談ください。

保証書

保証書

型式名	AT-364RSA-AQ AT-364RSA-AWQ	AT-364FSA-AQ AT-364FSA-AWQ
品名	AT-364RSA-AQ AT-364RSA-AWQ	AT-364FSA-AQ AT-364FSA-AWQ

上記機器をお買い上げいただきましたこととさせていただきます。この保証書は東京ガス保証区域(県内)において都市ガス用としてご使用になる場合、本保証書破損時で無料修理をお約束するものです。

- 記
- 保証期間は、お買い上げの日から2年間とし燃焼本体を別備とします。付属品は別備外です。
 - 万一故障の場合はお買い上げの日を、もしくはもよりの東京ガスへお申し出ください。
 - ガス工員が参りした時に保証書をお示しください。
 - 保証期間中でありながらも故障の場合には有料修理といたします。
 - 取扱説明書によらないでご使用になり故障した場合。
 - お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷。
 - 火災、天災、地震等による故障、その他不可抗力による故障。
 - お買い上げの店、あるいは東京ガスに、ご連絡なしに通達された場合の故障。
 - 修理を指示してある以外のガスでご使用のため改造された場合。ただし当社都合の場合は除きます。
 - 本保証書を紛失された場合。
 - 本保証書を紛失された場合、ご不申の場合にはお買い上げの日から起算、もよりの東京ガス支社・営業所にお問い合わせください。

保証履行者 東京ガス株式会社
 東京港区海岸1丁目5番20号
 電話 03 (3433) 2111
 保証責任者 松下電器産業株式会社
 奈良県大和郡山形町南井町800
 電話 07435 (0) 1121
 松下住設機器株式会社
 ガスシステム事業部

お買い上げ日	年	月	日
販売店名	役者		
住所	印		
電話番号	()		

お客様へ 1. この保証書をお受取の時には販売店名、販売店名、販売店名が記入してあることを確認してください。
 2. 本保証書は紛失防止のためお買い上げ後大切に保管してください。
 3. 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては保証書内容をご確認ください。
 4. この保証書によって、お客様の責任の範囲を判断するものではありません。

取扱説明

AT-364RSA-AQ
 AT-364RSA2-AQ
 AT-364RSA4-AQ
 AT-364FSA-AQ
 AT-364RSA-AWQ
 AT-364RSA2-AWQ
 AT-364RSA4-AWQ
 AT-364FSA-AWQ

(AT-364RSA-AQ)
 (AT-364RSA-AQ-F)
 (AT-364RSA-AQ-C)
 (AT-364FSA-AQ)
 (AT-364RSA-AWQ)
 (AT-364RSA-AWQ-F)
 (AT-364RSA-AWQ-C)
 (AT-364FSA-AWQ)

5	4	0	1	3	2
5	4	0	7	3	6
5	4	0	2	3	6
5	4	0	8	3	6
5	4	0	9	3	6
5	4	0	4	3	6
5	4	0	0	3	6
5	4	0	0	3	7

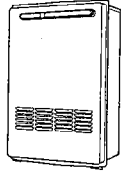
13191

取扱説明書（別冊）

「安全上のご注意」

ガス給湯暖房機

ご使用前に「取扱説明書」及びこの取扱説明書（別冊）をよくお読みの上、正しくお使いください。そのあと大切に保管し、必要なときお読みください。



お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

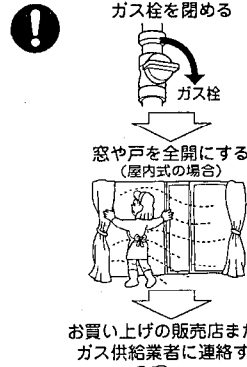
危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

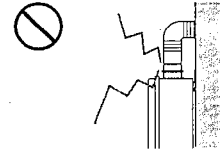
危険

■ガス漏れに気付いた時は、ガス栓を閉め、お買い上げの販売店へ連絡する



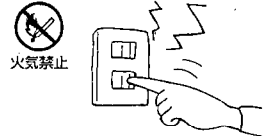
そのままにしておくと、引火し、爆発・火災の原因となります。

■給排気筒が外れたり、つまった状態で使用しない（給排気筒使用の場合）



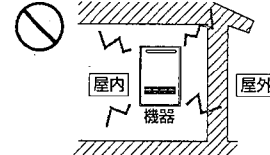
燃焼排ガスが室内に漏れたり、正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因となります。

■ガス漏れ時は、絶対に火をつけたら電気器具のスイッチの「入・切」などはしない



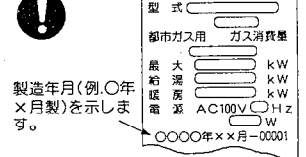
引火し、爆発・火災の原因となります。

■屋内に設置しない（屋外式の場合）



燃焼排ガスが室内に流入したり、正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因となります。

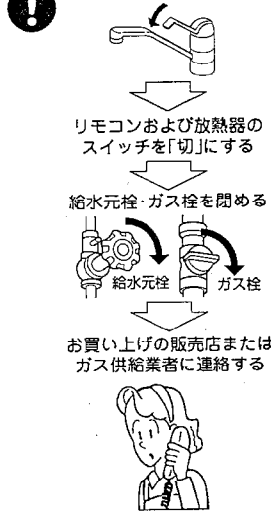
■必ず銘板に表示のガス・電源を使用する



他のガス種・電源を使用すると熱源機が正常に作動しなくなり、異常燃焼し、一酸化炭素中毒や火災などの原因となります。

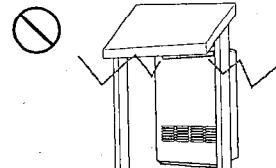
警告

■異常燃焼・臭気・異常音を感じたとき、地震・火災のときは次の手順に従う



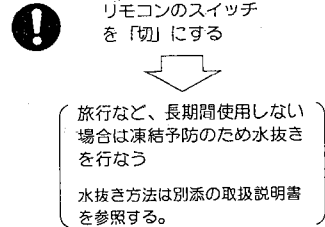
そのままにしておくと、火災の原因となります。

■給排気口（トップ）をおおわない



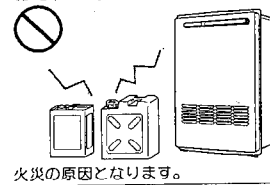
火災や異常燃焼による熱源機故障の原因となります。

■お出かけやお休みなど長時間使用しないときは、リモコンのスイッチを「切」にする



ガス漏れが生じた場合、火災の原因となります。

■ガソリン・ベンジン・灯油など引火のおそれのあるものを近くで使用しない

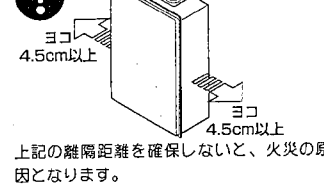


■熱源機の設置、移動の工事はお買い上げの販売店に依頼する



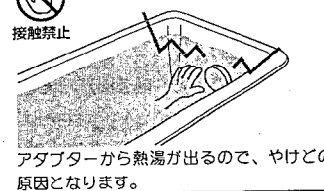
正常に熱源機が設置されないで火災や熱源機故障の原因となります。

■燃えやすいものは離す（屋内式の場合）



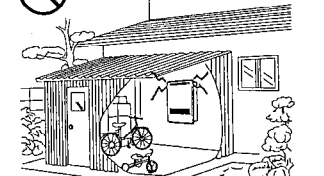
上記の離隔距離を確保しないと、火災の原因となります。

■高温差し湯中は、アダプター付近に触れない（高温差し湯機能のある場合）



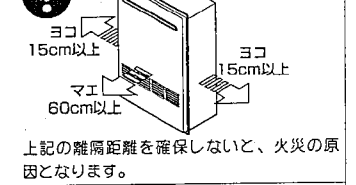
アダプターから熱湯が出るので、やけどの原因となります。

■増改築などにより屋内状態にしない（波板などにより囲いをするもおやめください。）（屋外式の場合）



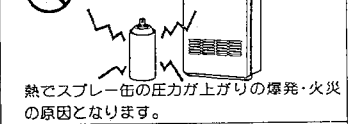
正常な給排気ができないため異常燃焼し、一酸化炭素中毒などの原因となります。

■燃えやすいものは離す（屋外式の場合）



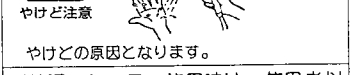
上記の離隔距離を確保しないと、火災の原因となります。

■スプレー缶を排気口（トップ）の前方に置かない、前方で使用しない



熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発・火災の原因となります。

■入浴時、シャワー使用時はまず手で湯温を確認する



やけどの原因となります。

■給湯・シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない

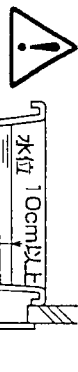


高温に設定されると熱湯によるやけどの原因となります。

※混合水栓はレバーを上げた状態が給湯栓「開」の場合で説明してあります。

注意

■追いつきするときは水位が循環口より10 cm以上、上にあることを確認する（追いつき機能のある場合）



空だきによる火災や、熱源機故障の原因となります。

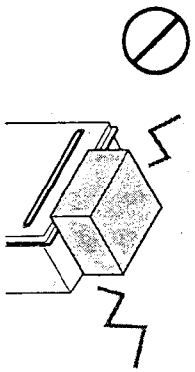
■使用中や消火直後は、排気口（トツ）付近に触れない



接触禁止

やけどの原因となります。

■熱源機の上に乗ったり、物を乗せたりしない



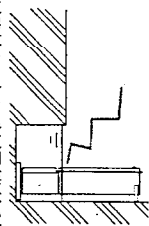
やけどや熱源機の転倒により、けが・熱源機故障の原因となります。

■点火時、消火時、使用中はリモコンの燃焼表示（ランプ）の点灯・消灯を確認する



確認を怠ると、熱源機の異常を早期に見てきなくなりします。

■排水の不良などで熱源機が冠水するような状態では使用しない（屋外式の据置形の場合）



火災や異常燃焼による熱源機故障の原因となります。販売店にご相談ください。

■パネルヒーターの表面は触らない（パネルヒーター使用の場合）

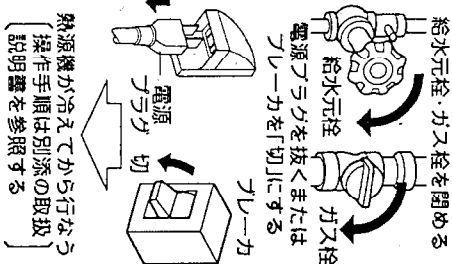


やけどの原因となります。

■点検・お手入れはリモコンのスイッチを「切」にし、給水元栓とガス栓を閉め電源プラグを抜いて（またはブレーカを「切」にして）熱源機が冷えてから行なう



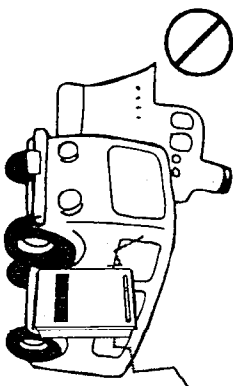
リモコンのスイッチを「切」にする



熱源機が冷えてから行なう
（操作手順は別添の取扱説明書を参照する）

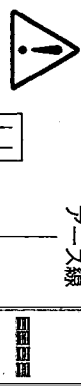
やけどや感電の原因となります。

■車両・船舶への設置はしない



振動により熱源機が転倒し、火災や熱源機故障の原因となります。

■アース接続されていることを確認する



漏電が生じた場合、感電の原因となります。アース接続されていない場合は、販売店に依頼してください。

■屋外に設置しない（屋内式の場合）



炎が風におおられて火災の原因となったり、雨水などが入り熱源機故障の原因となります。

■給湯・お湯はり・給湯暖房用として使用する



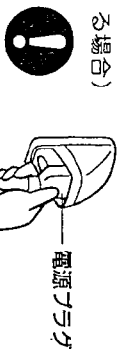
他の用途に使用すると、火災や熱源機故障の原因となります。

■お密接ご自身で修理・分解をしない（フロントカバーを外さない。）



不痛が生じた場合、火災や感電・熱源機故障の原因となります。

■電源プラグの抜き差しは、プラグをもって確実に行なう（電源プラグがある場合）



コードを持って引き抜いたりするとコードが切れ、感電や火災の原因となります。

■床暖房の上に電気カーペットを敷かない



床材の割れ、そり、隙間の原因となります。

■カーペット式床暖房に鋭利なものを落としたり、刺したりしない



温水バインツが破損し、温水が噴き出しやけどの原因となります。

■床暖房の上で高い温度に設定したまま長時間すわったり、寝そべったりしない



低温やけどの原因となります。

■電源プラグまたはブレーカはぬれた手で触らない



感電の原因となります。